

「家族の絆を深め、在宅生活の喜びを創造する」

看護小規模多機能型居宅介護



かんたき
— 看多機を知っていますか? —



通い
(通所サービス)

泊まり
(短期入所)

訪問看護

訪問介護

慣れ親しんだ家で『自分らしく』
生活したいと願う、あなたと家族
を看護・リハビリ・介護の連携で
24時間365日支えます。

通い・泊まり・訪問看護・訪問介護
のサービスを組み合わせることで、
医療ニーズの高い方が、住み慣れた
街で、身近な人に囲まれて暮らし続
けることを支援します。

医療法人 北寿会

看多機の4つの安心

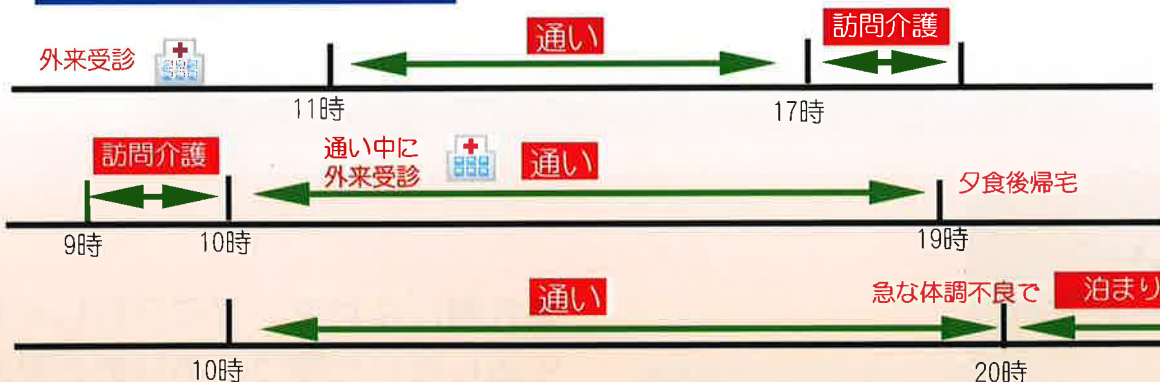


- ❁ 4つのサービスを柔軟に提供
一つの事業所が「通い」「泊まり」「訪問看護」「訪問介護」の4つのサービスを柔軟に組み合わせて提供します。急な変更にも臨機応変に対応が可能。
- ❁ 顔なじみの職員がサービスを提供 **認知症の方にも安心です。**
いつもの顔なじみの職員が、4つのサービスを一体的に提供します。
- ❁ 介護保険適用部分の利用料は月定額制
介護保険適用部分の利用料は、要介護度に応じた月定額制です。利用回数による増減はありません。ただし、その他の料金（食費や宿泊費等）は実費となります。
- ❁ 医療ニーズの高い方でも安心
可能な限り、医療が必要な方にも対応します。

通いサービス

- ・1日最大15名の少人数制
- ・プライバシーに配慮して、お一人ずつ入浴が可能
- ・決まった利用時間はありません。朝から夕食まで、入浴のみの短時間等、希望に応じて利用可能。送迎時間も柔軟に対応可能。
- ・充実したリハビリテーション
理学療法士によるリハビリの実施の他、日常生活の中で介護職による生活リハビリを実施。
※理学療法士の配置は、当施設独自の取組です。
- ・通いサービス中に、併設クリニックへの受診が可能。（内科、皮膚科、歯科）

さまざまな利用パターン



「その他の取組」

- ・1日2回体操を実施
- ・えん下体操の実施（誤嚥性肺炎予防）
- ・脳トレ（音読、塗り絵、計算等）の実施（認知症予防）

泊まり（短期入所）サービス

- ・全室個室でプライバシーにも配慮
- ・必要に応じて、ロングステイも可能。※空き状況などによる
- ・体調が優れない場合等は、緊急に泊まりサービスを利用可能。※空き状況などによる

訪問看護サービス

看護師がご自宅に訪問し、看護ケアを提供します。医療が必要な方を、出来る限り受入できるように看護師 常勤換算2.5名を配置しています。

訪問介護サービス

ご自宅に訪問し、安全確認、排泄・更衣介助など身体介護から、掃除・洗濯など家事支援を実施致します。また、薬の飲み忘れがないように確認をしています。

看取りへの対応

看多機では、医療機関と連携し、ケアの方法や環境などご本人が望む形で、そして家族のかかわる時間を大切にして、何度も話し合いながら一緒に看取りを行ってまいります。

サービス案内（登録定員25名少人数制）

- 登録定員 : 25名
- 「通い」サービス : 1日15名まで
- 「泊まり」サービス : 6個室 完備
- 「訪問看護」サービス : 主治医と連携し、ご自宅での看護ケアを24時間365日対応。
- 「訪問介護」サービス : 24時間365日対応。
- サービス利用対象者
 - ・要介護認定を受けておられる方（要介護1以上）
 - ・奈良市に住民票がある方

料金のご案内

介護保険一部負担金（月あたり）

要介護度	月額料金		
	（1割負担）	（2割負担）	（3割負担）
要介護1	19,123 円	38,246 円	57,369 円
要介護2	25,020 円	50,039 円	75,058 円
要介護3	33,407 円	66,813 円	100,219 円
要介護4	37,305 円	76,410 円	111,915 円
要介護5	41,628 円	83,256 円	124,884 円

初回加算、緊急時対応加算、サービス提供体制強化加算(Ⅰ)、総合マネジメント体制強化加算、科学的介護推進体制加算、及び介護職員処遇改善加算(Ⅰ)を含む。その他、認知症加算など加算される場合があります。

その他料金（1回あたり）

項 目	料金（1回）
朝食代	420 円
昼食代	820 円
夕食代	770 円
おやつ代	100 円
宿泊費（個室）	3,500 円
日常生活品費	356 円
教養娯楽費	50 円

介護保険適用部分の利用料（介護保険一部負担金）は、要介護度に応じた月定額制です。利用回数による増減はありません。ただし、その他の料金（食費や宿泊費等）は実費となります。※その他料金は主なものを記載しています。

スケジュール例

スケジュールカレンダー

1	2	3	4	5	6	7
泊まり	泊まり	通い	訪看	通い		訪介
8	9	10	11	12	13	14
通い		通い	訪看	通い		訪介
15	16	17	18	19	20	21
泊まり	泊まり	通い	訪看	通い		訪介
22	23	24	25	26	27	28
通い		通い	訪看	通い		訪介
29	30	31				
通い		通い				

要介護2（1割負担）の方の場合

介護保険一部負担金：25,020 円
 泊まり：4回、通い：週3回、
 訪問介護：週1回、訪問看護：週1回
 朝食4回、昼食16回、おやつ16回、
 夕食4回、日常生活品費16回、
 教養娯楽費16回 含む

合計 64,996 円

看護小規模多機能の紹介動画のご案内

公益社団法人 日本看護協会様が制作された看護小規模多機能の紹介動画です。

わかりやすい動画です。ぜひご覧ください。

(2021年3月制作／7分程度)

「看多機ってなに？」
～看護小規模多機能型居宅介護の概要～

紹介動画QRコード



(2021年3月制作／11分程度)

「看多機ってどんなところ？」
～具体的な活用例のご紹介～

紹介動画QRコード



※動画の中で、当施設では取り組んでいないサービスもございますので、
詳細は、当施設にお問合せください。

(お問合せ先)

看護小規模多機能型居宅介護



〒631-0003

奈良市中登美ヶ丘三丁目 13番2

TEL 0742-52-9191 FAX 0742-52-9202

当施設ホームページ
QRコード



看多機（かんたき）では、次のような方を支援し、在宅生活を継続されています。

「在宅酸素のお一人暮らしのご利用者」



（ご利用者の状態や環境）

- ・要介護2の一人暮らし。
朝は少し遅めの起床です。
- ・COPD（慢性閉塞性肺疾患）を患っており、HOT（在宅酸素療法）を導入されています。時々、酸素カニューレ（鼻から酸素を供給するためのチューブのようなもの）をつけるのを忘れてしまいます。
- ・糖尿病でインスリン加療中。

通いの日は、少し遅めのお迎えで朝はゆっくりしたいので、10時頃 お迎えに行きます。
個別のお迎えで、通いの準備を一緒に確認しています。
冷蔵庫の中身も確認して、足りないものもチェック！
酸素ボンベも確認し、散歩も兼ねて一緒に歩いて看多機へ向かいます。

通いでは、お一人ずつの入浴を 食事は夕食まで

- ・お一人ずつの入浴で、ゆっくりとお風呂を楽しんでいます。
- ・食事は昼食・おやつだけでなく、夕食まで提供しています。帰宅すればゆっくりとお休みいただくだけです。



通いの途中でも定期受診できます

- ・看護小規模の通いの時間中に定期受診もしています。近医なら受診に職員が立ち会い、日々の状態を医療機関に伝えることもしています。
- ・お薬を看多機で預かり、必要分だけ本人にお渡しすることもできます。

訪問サービスでインスリン管理

通いでない日も、いつもの看護師・介護士の職員が訪問し、インスリン注射の管理を行います。

看多機登録前は、本人は打ったのかどうかも曖昧でしたが、毎日管理することで、血糖値も安定しました。

一人暮らしの本人も、自分を知っている人が毎日顔をだしてくれるので安心されています。

訪問サービスで買い物・掃除

洗濯はご自身の日課としてされています。必要な食品や日常生活品を、職員が買い物代行しています。掃除も本人と一緒にしています。

看多機と末永いお付き合い

看多機は、要介護認定が重く、病状が進んだ方が登録するイメージを多くの皆様が持たれています。

しかし、要介護認定が軽度のうちから登録すれば、じっくりと時間をかけて本人の生活全体を支援することができ、本人と共同で取り組むことで、在宅生活の可能性を高めていくことができます。

訪問介護と訪問看護を利用され、在宅生活を送られている方の事例をご紹介します。

事例① 迷惑をかけるから外出を控える

- ・要介護2の車椅子の男性です。
- ・独居生活を送り、車椅子を足漕ぎで移動されていました。
- ・自宅前に階段もあり、体重もあるので、外出するのに迷惑をかけるからとのことで、訪問を中心にしたサービスを希望されました。
- ・訪問介護（身体介護・生活援助）や訪問看護を週5回利用。



事例③ 糖尿病への対応

- ・糖尿病を患い、毎日のインスリンは自己管理をされていました。
- ・訪問看護が数値管理を行い、医療機関への報告を行います。
- ・車いすであり、下肢の浮腫みも顕著であったため、褥瘡（じょくそう）ができないようにデリケートな対応が必要でした。
- ・床ずれ防止用マットレスなども活用し、保清を併せてスキントラブルへの対応を行っていました。

事例② 保清（ほせい：身体の清潔を保つこと）は、訪問介護・訪問看護で清拭（せいしき：身体をふくこと）

- ・血流が悪く、皮膚も剥離しやすい方ですが、あまり入浴はお好きじゃないとのこと。車いすなので、自宅での入浴は難しい状態でした。
- ・そこで、自宅にて週3回清拭を実施し保清に努めました。
- 訪問看護もかかわることで、スキントラブルの確認も行いました。
- ・月1回ほどではありましたが、家族と一緒に来所いただき、個別で入浴をしていただきました。

事例④ 生活援助でサポート

車いすでの独居生活をおくられているので、掃除やゴミ出し、買い物代行など週2回生活援助を介護士が行います。

食事は、自分で調理されるので、必要な食材などを事前に聞きとり、訪問前に購入し届けていました。

糖尿病を患っているため、食材購入について、食事が偏ったり、カロリーを摂りすぎていないかなど、本人と相談して行いました。

長期的な在宅生活を支援

看多機は、通い・泊りサービスだけでなく、登録者の生活様式に併せて、訪問介護・訪問看護を中心に支援することも可能です。また服薬管理やおむつ交換など、1日複数回の訪問も可能です。

要介護状態が軽度の時からご利用いただくことで、段階的にサービスを組み替えたり、一時的に訪問⇄通い⇄泊りを変更することもできるので、長期的な在宅生活を望む方にとって、使いがっつてのよい介護保険サービスとなります。